

日時 12/10(土)、11(日)

会場 六本木アカデミーヒルズ  
〒106-6149 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49F

会長 針谷 正祥 東京女子医科大学医学部  
内科学講座  
膠原病リウマチ内科学分野

新企画! ディベートセッション

セッションの最初に各演者が与えられたテーマに関する自分の意見をプレゼンテーションし、その後、座長の司会で二人が意見を述べていきます。セッションの最初と最後に、会場の参加者にどちらの意見を支持するか投票をしてもらいます。

# Debate Session

ディベートセッション 1 10日

ステロイド抵抗性PMRに対して追加併用するのは  
**csDMARD**か  
**bDMARD**か

座長 **天野 宏一**  
埼玉医科大学総合医療センター

演者 **平田 信太郎**  
csDMARD 広島大学

演者 **金子 祐子**  
bDMARD 慶應義塾大学

注目ポイント!

リウマチ性多発筋痛症は高齢社会の我が国では、日常的に遭遇する疾患の一つとなりました。治療の第一選択肢はプレドニゾロンですが、減量中に再燃してしまい追加治療に迷った経験はありませんか? 専門家の次の一手はcsDMARDかbDMARDか。専門家がエビデンスと経験に基づいて意見を戦わせます。

ディベートセッション 2 10日

強皮症の間質性肺炎に対する分子標的治療薬の選択  
**リツキシマブ**か  
**トシリズマブ**か

座長 **川口 鎮司**  
東京女子医科大学

演者 **倉沢 和宏**  
リツキシマブ 獨協医科大学

演者 **吉藤 元**  
トシリズマブ 京都大学

注目ポイント!

膠原病のなかで最も手ごわい病気である強皮症にも、新しい治療選択肢が増えてきました。エビデンスは勉強したけど、どれを選べばよいのかわからない。強皮症って皮膚だけ直せばいいわけじゃないよね。臨床ではどうやって使うの。そんな悩みを持っているあなたには是非参加して欲しいセッションです。

ディベートセッション 3 11日

乾癬性関節炎の治療選択  
**bDMARD**か  
**JAK阻害薬**か

座長 **田中 榮一**  
東京女子医科大学

演者 **岸本 暢将**  
bDMARD 杏林大学

演者 **神田 浩子**  
JAK阻害薬 東京大学

注目ポイント!

乾癬性関節炎と関節リウマチの治療薬はかなり重なっていますが、臨床像はかなり異なります。今回のテーマは分子標的治療薬の選択。関節リウマチと同じように考えて選べばよいのか。乾癬性関節炎に対するベストチョイスはどの薬剤なのか。安全性と有効性を知り尽くした専門家はどうか、聞きに来てください。